

グローバル MICE 戦略都市の選定について

観光庁において平成 25 年度から新たに開始された「グローバル MICE 戦略都市」に横浜市が選定されました。

1 グローバル MICE 戦略都市概要

(1) 目的

観光庁が海外競合国・都市との誘致競争に打ち勝てるポテンシャルのある都市を選定して集中的に支援し、グローバルレベルの競争力を有する都市を育成します。

(2) 選定都市

グローバル MICE 戦略都市 (5 自治体)	東京都、横浜市、京都市、神戸市、福岡市
グローバル MICE 強化都市 (2 自治体)	大阪府・大阪市 (共同提案)、名古屋市・愛知県 (共同提案)

※グローバル MICE 強化都市…グローバル MICE 戦略都市に次ぐ評価を得た 2 自治体を選定。

(3) 支援内容

MICE の中でも喫緊の課題である国際会議の誘致競争力強化について、観光庁が以下の支援を実施します。

支援項目	内 容
市場・競合都市の調査分析	マーケティングの基礎となる海外顧客・競合都市に関する調査分析
アドバイザー派遣	国際会議の誘致・開催における外国人専門家等によるコンサルティング
プロモーション支援	メディア招請等のプロモーション事業
ステークホルダー連携	産業界等との連携体制構築に対する支援 (産業界向けセミナー、協議会の立ち上げ支援等)
地域経済波及効果測定モデル開発	都道府県・市単位で経済波及効果が把握できる測定モデルの開発

(4) 選定までの経緯

- 平成 25 年 4 月 24 日 公募開始
- 5 月 29 日 公募締切
- 6 月 24 日 観光庁ヒアリング
- 28 日 「グローバル MICE 戦略都市」選定

2 平成 25 年度 支援内容

支援項目	実施内容	実施時期
市場・競合都市の調査分析	①学会・協会の動向調査 ②グローバル MICE 戦略都市及び強化都市と海外のコンベンション都市との比較調査	9月～3月
アドバイザー派遣	①アドバイザーの派遣及びヒアリング・現地調査 ②都市のコンサルティング、誘致活動支援等	7月～3月
プロモーション支援	海外の MICE 専門誌を活用した折込用小冊子の作成	9月～12月
ステークホルダー連携	①国際会議誘致及び開催支援 ②ステークホルダーを対象とするセミナーの実施	9月～3月
地域経済波及効果測定モデル開発	国際会議が開催された場合の都市への経済波及効果測定モデル作成	～3月

3 今後の事業の方向性

本事業は数か年に渡って継続される予定ですが、平成 27 年度以降は、事業効果の一層の向上の観点から、選定都市の見直しが行われる予定です。

本市としましては、これまで以上に積極的な誘致活動を進め、引き続きグローバル MICE 戦略都市に選定されるよう、取り組んでまいります。

(参考) 平成 23 年 国際会議開催実績

<出典：JNTO データ>

国際会議 開催件数			
順位	都市名	件数	備考
1	東京 (23 区)	470	戦略都市
2	福岡市	221	戦略都市
3	横浜市	169	戦略都市
4	京都市	137	戦略都市
5	名古屋市	112	強化都市
6	神戸市	83	戦略都市
7	札幌市	73	
8	大阪市	72	強化都市
9	千里地区	54	
10	つくば地区	46	

うち中大型 開催件数			
順位	都市名	件数	備考
1	東京 (23 区)	55	戦略都市
2	横浜市	32	戦略都市
3	京都市	28	戦略都市
4	福岡市	22	戦略都市
5	名古屋市	16	強化都市
6	大阪市	13	強化都市
7	北九州市	11	
8	神戸市	8	戦略都市
8	札幌市	8	
8	広島市	8	